

(別紙3)

地球温暖化対策計画実施状況報告書の概要(公表用)

1 事業者の概要

法人名 代表者名	東京製螺工業株式会社 代表取締役 樋口 恵	市内の 主たる住所	相模原市中央区田名塩田1-17-5
主たる事業 の内容	自動車、産業用機械などのネジ付部品の製造		

2 計画期間

令和 7 年度 ~ 令和 9 年度

3 報告対象年度

令和7年度

4 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況

基準年度 排出量	52.0 t-CO ₂	報告対象年度 排出量	50.0 t-CO ₂
排出削減量	2.0 t-CO ₂	報告対象年度 排出削減率	3.8 %
(原単位を設定した場合)報告対象年度原単位排出量削減率			%

5 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況に関する説明

受電用変圧器の更新(実施済み):当初は補助事業として計画していましたが、メーカーによる機材の遅延により補助金の交付決定を取り消し、**令和7年7月11日に自己資金にて更新を完了**しました。高圧受電設備(三相150kVA、単相30kVA)が最新のトップランナーモデルへと更新されました。これにより、年間で約6,558kWhの電力損失改善、二酸化炭素排出量に換算して3.390t-CO₂の削減効果が期待できます。

太陽光発電システムの運用:既設の太陽光発電設備(計27kW)および蓄電池ユニット(計15kWh)の安定運用を継続しています。

前年度(令和6年度)の実績では、電力自給率が**17.2%**に達しており、購入電力量を前年比で約4,148kWh削減できています。

地域活動への貢献:「テクノパイル田名工業団地協議会」の一員として、環境美化活動や緑化運動に積極的に参加し、地域社会と連携した地球温暖化防止活動を推進しています。

6 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施した措置の内容

措置の内容
受電用変圧器の更新
再生可能エネルギーの活用
地域活動への貢献

7 その他地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

太陽光発電・蓄電設備の第3期増設(令和8年度予定):さらなる再エネ比率向上のため、工場屋根への太陽光パネル(約5kW)および蓄電池(5~10kWh)の追加設置を計画しています。

業務用車両の電動化推進:業務用車両(軽EV車、フォークリフト)のEV化を検討しており、休業日の太陽光発電電力を活用した「休日充電システム」の構築を目指します。

運用改善による節電:エアーコンプレッサーの設定圧力見直しや、設備始動時の電源投入時刻の分散によるデマンドピークの削減(61kWから58kWへの低減目標)に継続して取り組みます